

Blue Christmas

昨日帰りに一人きり歩いてたら
通りの向こうに見つけてしまった
二人寄り添いニコニコと楽しそうで
見ている私なんだかとても
寂しさがこみ上げて来たの
ずっと前から知ってたの
多分あの娘よりも前からよ
なんで私じゃない人が
あそこで笑っているんだろう
昼休みお弁当だって
作ってあげた時「おいしい」って喜んで笑顔をくれたし

だけど私は選ばれなかったんだね
一人でいるのも嫌いじゃないから
ケーキそれからチキンとか買って帰る
一人でだって寂しくないよ
とんがり帽まだあったはずよ
ずっと取っておいたはずの
ワインだって開けてしまおうかな
ちょっと上手に開けられる
気がしないけどなんとかかなる
日頃から飲み慣れないから
二日酔いになっちゃうかもしれないな でもまあ休みだからね

部屋に帰って「ただいま」と言ってみても
いつもとおんなじ 返事はないけど
まずはシャワーを浴びてからご飯にしよう
見たこと全部 水に流してしまえば
気が晴れるかもね
こたつ入って 一人でも乾杯する
結構おいしい... でもまだダメだな...

君の名前を小さくつぶやいてみる
だけど涙は流さないんだ
白い雪降り出したって

Blue Christmas
